

全木連時報

5月25日(水曜日)
(第566号)〔毎月25日発行〕
平成17年(2005年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
編集長 後藤隆一
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。

全木連・全木協連・木退共通常総会

来賓多数出席のもとに開催

第五十八回全木連通常総会、第四十五回全木協連通常総会及び木退共の通常総会が五月十日、東京・港区の虎ノ門パストラルを会場に、全国から会員多数が出席して開催された。総会には、林野庁の前田直登長官をはじめ関係幹部、国土交通省木造住宅振興室長、農林水産省、また、林業関係団体幹部が来賓として出席し、華やかさを盛り上げた。総会の議事は順調に進み、所定の議案を滞りなく審議して、承認・決定して、閉会した。

全木連通常総会

全木連の総会は、午後二時三十分から開会。会議に先立ち、今春の叙勲及び褒章受章者を後藤副会長が報告(別掲)。全員が拍手で受章を称えた。



おめでとございます

平成十七年春叙勲・褒章受章者

- 旭日小綬章 岡田 幸助(徳島) 旭日双光章 淵田 睦男(熊本)
- 旭日小綬章 澤田 正義(大阪) 黄綬褒章 向河原辰郎(石川)
- 旭日小綬章 山本 明(大阪) 以上、木材業振興功労者関係
- 旭日双光章 安藤 友一(愛知) (敬称略)
- 旭日双光章 砂押 廣巳(茨城)

全木協連通常総会

全木協連の通常総会は、午後三時四十分が開会した。

開会の言葉を平方副会長が述べたあと、庄司会長が別掲の挨拶をした。つづいて、来賓の前田直登林野庁長官と国土交通省の小田広昭木造住宅振興室長から祝辞を受け、司会から出席の来賓を紹介した。議事は、庄司会長が議長となり、進行。

目次

- 一面 全木連・全木協連・木退共通常総会を来賓多数出席のもとに開催し所定の議案を承認決定
- 二面 庄司全木連会長の挨拶要旨
- 三面 並木全木協連会長の挨拶要旨
- 四面 全木協連個人情報の取扱についてお知らせ 景況調査

第一号議案の平成十六年度事業報告承認の件については、事務局から説明のうえ、原案のとおり承認。第二号議案の平成十六年度収支決算承認の件についても、事務局説明のうえ、岩瀬茂雄監事が監事を代表して監査報告し、原案のとおり承認された。

斎藤常務が退任 後任に藤原常務を選任

を選任

斎藤義光常務理事は、任期途中であるが、この総会で、退任することとなり、総会では、その後任に藤原敬・前森林総合研究所理事を選任した。

その他報告事項を経て、総会の議事を終了。山根副会長が閉会の言葉を述べ、閉会した。

会議に先立ち、今春の叙勲・褒章受章者を後藤副会長から披露し、

全員拍手で称えた。

会議は、開会の辞を吉副副会長が述べて始まり、まず、並木会長が別項の挨拶を行った。その中で、業界は厳しい状態にあるだけに自らも変っていかねばならないとの認識を示した。

次いで、来賓の黒木林野庁次長から祝辞が述べられた。

議事は、並木会長が議長となり進め、平成十六年度事業報告承認の件、平成十六年度収支決算及び剰余金処分案承認の件を事務局から説明のうえ、早川淳監事が代表して監査報告を行い、承認した。次いで、平成十七年度事業計画決定の件を後藤副会長が説明のうえ、原案のとおり決定した。

木退共通常総会

木退共の総会は、全木連総会と併行して行われた。

議案の件、平成十六年度事業報告承認の件、平成十六年度収支決算承認の件は、事務局の説明の後、小林弘昌監事が代表して監査報告を行い、承認した。

平成十七年度事業計画決定の件については、事務局より説明のうえ、原案のとおり決定。

平成十七年度収支予算決定の件、平成十七年度入会金及び会費

画決定の件を後藤副会長が説明のうえ、原案のとおり決定した。

平成十七年度収支予算決定の件、平成十七年度賦課金決定の件、平成十七年度加入金決定の件、平成十七年度借入金最高限度額決定の件、平成十七年度役員報酬決定の件については、一括で事務局から説明した後、原案のとおり決定した。

役員補充の件については、全木連と同様に、齋藤常務理事の退任に伴って、後任に藤原敬常務を選任した。最後に、横田副会長が開会の辞を述べて終了した。

決定の件についても、事務局から説明のうえ、原案のとおり決定した。

役員改選(補充)の件については、梶木連代表者の交代、全木連役員の変動に伴って次のとおり選任し、総会を終了した。

理事 打越芳男(佐川清一・茨城)横田欽一郎(野上幸男・宮崎) 常務理事 角谷宏二(齋藤義光・全木連)

庄司全木連会長挨拶

会議の開会に当り、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、第五十八回全木連通常

総会・理事会、第三十三回木退共総会・理事会を開催いたしましたところ、全国各地から、はるばる

ご参集いただき誠に有難うございます。また、日頃から幅広くご指導いただいております林野庁の前田長官はじめご来賓の皆様には、公務ご多用の中、ご臨席いただき誠に有難うございます。

さて、我が国の経済は、輸出産業を始めとした一部産業の活発な生産活動に刺激され、全般的に設備投資も個人消費も堅調に推移していると考えられ、ここの二、三年の景気回復の足踏み状態もやがては回復基調に戻るものと予測されています。しかし木材産業はじめ地域密着型産業には、景気回復の流れに乗り切れず、いまだに苦しんでいるところも多いと考えられます。

こうしたなかで木材需要の大宗をなす新築住宅着工戸数は、平成十六年は前年を二・五%上回っており、木材需要量も三・三%増加するものと見込まれています。また、国内産材の供給量は昨年引き続き前年を三・八%上回りました。今後この傾向が続く国産材の供給増加が本物になることを期待しているところであります。また、木材輸入も四年ぶりに増加に転じ、木材全体の取扱量も増加しました。反面木材価格は一進一退の波行状態が続いており、木材業界にとつて依然として難しい経営環境といわざるを得ません。

去る二月、京都議定書が正式に発効し、その目標達成がわが国の国際約束になって参りました。こ

のため政府は京都議定書目標達成計画を決定し、目標達成に向けた各般の取り組みを明らかにしました。そのなかで温暖化ガスの吸収源として森林の育成と併せて木材利用の拡大が重要な課題であると明記されています。このため全木連としまして、地球温暖化防止に貢献する木材需要の拡大対策に積極的に取組むこととします。また、目標達成のために必要な資金源として環境税の創設等新たな財源対策にも引き続き積極的に取組んで参ります。

この問題と関連して違法伐採問題が七月英国で開催されるG8サミットにおいて取上げられる見込みであり、わが国も何らかの対応が迫られております。政府としては、まず、政府調達物品の中から違法材を排除することを考えており、具体的手法の検討が進められております。全木連としましては、既に平成十四年声明を発表し、違法伐採材を取扱わないよう会員に勧告しておりますが、新たな措置が実施された場合は出来る限り協力すべきと考えます。

ダイオキシンの対策につきましては、小型焼却炉の構造基準が緩和され、加えてダイオキシン類の簡易測定方法の採用が見込まれていくことから、業界の負担は著しく軽減されるものと判断致します。これからは小型焼却炉の使用に当たって、卑しくも木材業界のコンプライアンスが問題とされること

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種共済制度

おかげさまで30年 中型グループ共済

従業員のために	中型グループ	施設賠償 PL共済	第三者への事故対策に
経営者のために	大型 L型 無配当型	木退共	従業員の退職金の準備に
	各総合保障 プラン	積立終身	経営者の退職金などの準備に

ケガ・病氣入院 などの備えに

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

のないよう注意しなければなりません。

現行のJAS制度は二年前から適用されて、制度の定着・普及に向け、引続き関係者の意識改革を図っているところでありますが、この度JAS法の全面的な改正案が国会で審議されており、今回の法改正の趣旨は、認定登録機関の第三者性を明確にし、制度運用の透明性を高めるなど、国際的基準に即した仕組みにすることにあります。全木連としてもこの法改正に対応して、信頼される業務運営の構築に向けて組織体制を検討する必要に迫られております。

また、去る三月三十日には、木材の原産地、樹種などの情報を表示する運動の推進母体として、木材表示推進協議会」の設立総会が開催され、四月一日正式に発足いたしました。この協議会の運動が

全木連総会での来賓祝辞の概略は次のとおり。
前田林野庁長官は、森林吸収源対策の目標達成に向けて、木材利用が必要であるとして、川下の元気があってこそ、森林整備も進むと強調したうえで、二重三重に効果をあげられるように全力で取り組むとした。木づかい推進月間」を設けることや価値観の変化をさまざまな政策を進めると述べた。

各来賓祝辞のエッセンス

ますます盛んになり、表示木材が消費者に話題にされるようになることを期待しています。全木連といたしまして、この協議会の活動に出来るだけの支援をいたしますが、会員の皆様もこの協議会への参加をお願い申し上げ、併せて協議会の今後の発展と活発な活動を心からご祈念申し上げます。

さて、木退共につきましては、日頃から加入者拡大にご協力をいただいておりますが、契約者数の減少傾向に一向に歯止めがかからず、引続き厳しい運営を続けております。今後とも、この共済制度の内容充実に努めるとともに、安定的制度の運営に努めて参る所存でありますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、春の叙勲並びに褒章の栄に浴された方々に於かれましては、全木連の表示制度への取り組みに敬意を表明。昨年度の住宅着工が伸び、木造はさらに伸びたこと、ニーズの高まりと皆様の努力の成果であるとした。国交省の環境対策としては、従来の省エネ対策に加え、木造住宅の推進も据えた。これからの住宅政策はストック重視になるとし、質の高い住宅が、円滑に流通する市場を形成すると述べた。

小田木造住宅振興室長の祝辞では、全木連の表示制度への取り組みに敬意を表明。昨年度の住宅着工が伸び、木造はさらに伸びたこと、ニーズの高まりと皆様の努力の成果であるとした。国交省の環境対策としては、従来の省エネ対策に加え、木造住宅の推進も据えた。これからの住宅政策はストック重視になるとし、質の高い住宅が、円滑に流通する市場を形成すると述べた。

は、ひとえに日頃のご精進とご努力の賜物と心からお喜び申し上げますと共に、今後一層のご活躍をご祈念申し上げます。

並木全木協連会長挨拶

全木協連会長の並木でございます。一言、ご挨拶申し上げます。

本日、平成十七年度全国木材協同組合連合会の通常総会を開催いたしましたところ、公務ご多用中のところ林野庁の黒木次長様はじめご来賓の方々、それに会員多数ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ずもって、只今、後藤副会長から今年春の勲章・褒章受章者が発表されましたとおり、木材関係では六名の方が勲章受章、一名の方が褒章をそれぞれ受章されました。受章者の長年にわたる木材産業へのご貢献に対し、皆様と共に改めて感謝申し上げますとともに、拍手をもって心からお祝い申し上げます。

さて、現在のわが国経済は、景気回復のテンポが緩やかに広がりつつありますが、明るさはごく一部の大都市と優良大企業に止まり、地方と中小企業の多くは未だに辛吟を続けています。景気回復の効果が一日も早く地方経済に広がることを期待するところであります。我々の業界にとっては、住宅着

括が主たる議題であります。限られた時間内で十分な議論は難しいとは思いますが、議事進行に付きよろしくお願いいたします。

工戸数が景気のパロメーターですが、全国的には百二十万戸近くで推移し、それは結構なことですが、木材業界にどれほどの恩恵があるのかを考えると、自助努力もさることながら、なかなか反映してこないというのが実情です。地方に行きまして、いろいろご意見をうかがうと、木材業界の中から住宅需要の本質が離れているのではな

いかと思われま。現在は、プレカットなしには、業界は回りませんが、プレカットを経る住宅建設というのは、一般の木材よりも集材が使われるわけで、これが、地方の製材工場に景気の回復感が出てこない一因といえます。

我々木材業界にとっては、国産材振興は一つの大きな要ですが、流通では、内地材だけでなく外材も左右される。この辺も、大きくとらえていく必要があるのではないかと思っています。

おり、我々が変わっていくべき途を全木連と連携してさぐり、状況の打開をはかりたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いします。さらに林野庁はじめ関係省庁、中小企業関連団体とも緊密に連携をとりつつ事業推進に努めていかなければなりません。

十七年度の事業計画につきましては、三月二十五日の理事会で議を経ておりますので、概略のみご説明いたします。資産の状況につきましては、十六年度はかろうじて黒字決算ができました。我々にとつては、中型グループ共済が事業の軸となりますが、数の増強をはかつて参りたいので、皆様のご協力をいただければ幸いです。

そのほか、木材産業構造改革に向けた新規事業としての、木材産業体質強化事業、木材供給高度化設備リース促進事業、木材産業構造改革促進事業を全木連との連携のもとに実施するほか、中型グループ保険等の共済事業など既存事業への取組みの見直しや財務の見直しなど様々な課題についても会員の皆様からの率直なご意見に謙虚に耳を傾けながら、活力のある、より信頼される団体を目指して頑張つてまいりますので、引き続き力強いご支援をお願い申し上げます。

終わりにあたり、本日ご列席のご来賓はじめ会員の皆様方のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げます。私の挨拶といたします。

景況調査 = 全木協

4月分集計表 ()内は実数

【流通部門】 モニター数97 回答数73 回収率75%

当月の状況			
販売量	増加27% (20)	変わらず47% (34)	減少26% (19)
仕入量	増加23% (17)	変わらず52% (38)	減少25% (18)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず88% (64)	下降9% (7)
仕入価格	上昇7% (5)	変わらず82% (60)	下降11% (8)
来月の見通し			
販売量	増加29% (21)	変わらず46% (34)	減少25% (18)
仕入量	増加19% (14)	変わらず62% (45)	減少19% (14)
販売価格	上昇1% (1)	変わらず89% (65)	下降10% (7)
仕入価格	上昇3% (2)	変わらず89% (65)	下降8% (6)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	8% (5)	78% (46)	14% (8)
南洋材	11% (6)	80% (45)	9% (5)
北洋材	9% (5)	79% (45)	12% (7)
国産材	2% (1)	80% (48)	18% (11)
建材	9% (5)	82% (44)	9% (5)

乾燥材取引の頻度	増加	変わらず	減少
	40% (25)	60% (38)	0% (0)

【製造部門】 モニター数97 回答数71 回収率73%

当月の状況			
販売量	増加35% (25)	変わらず48% (34)	減少17% (12)
仕入量	増加25% (18)	変わらず57% (40)	減少18% (13)
販売価格	上昇1% (1)	変わらず88% (62)	下降11% (8)
仕入価格	上昇10% (7)	変わらず70% (50)	下降20% (14)

来月の見通し			
販売量	増加28% (20)	変わらず57% (40)	減少15% (11)
仕入量	増加18% (13)	変わらず65% (46)	減少17% (12)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず91% (65)	下降6% (4)
仕入価格	上昇11% (8)	変わらず83% (59)	下降6% (4)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	18% (6)	76% (25)	6% (2)
南洋材	4% (1)	92% (21)	4% (1)
北洋材	18% (6)	73% (24)	9% (3)
国産材	6% (3)	72% (36)	22% (11)

プレカットの動向			
受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	57% (13)	43% (10)	0% (0)

1、個人情報の収集
当会は、適法かつ公正な手段によつて、個人情報を収集します。
2、個人情報の利用目的
所属員(注)を対象に当会が運営する、各種の共済制度の普及・加入促進、

3、個人情報の第三者提供
当会は、法令に定める場合を除き、個人情報等を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。
4、個人情報の管理
(1)当会は、個人情報の正確性を保ち、安全に管理いたします。
(2)当会は、持ち出しや外部に個人情報を漏えいさせません。

5、個人情報の開示・訂正・利用停止
当会は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止等を求める権利を有していることを確認し、誠実に対応します。
6、組織・体制
当会は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施します。
(注)当会の会員である各都道府県の協同組合組織(協同組合連合会)にあってはその会員である協同組合の組合員
(お問合わせ先)
全国木材協同組合連合会

おしらせ

全木協連個人情報の取扱について

林業・木材産業発展のために

お役に立ちます 林業・木材産業信用保証

平成16年6月からスタート!

「グリーンサポート3000」

一定の要件を満たした保証申込みにスピーディに応える無担保保証です。

独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

副理事長 加藤 鐵夫

〒101-8506 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階

TEL 03-3294-5581 FAX 03-3294-5595

URL <http://www.affcf.com/forestry>